仕事の窓 4
農林水産部

特定家畜伝染病の発生に備え、防疫作業説明会を開催

近年、国内外において高病原性鳥インフルエンザや豚熱などの特定家畜伝染病が継続的に発生しています。また、昨年10月には台湾の飼養豚でアフリカ豚熱（ASF※）の発生が確認されるなど、その脅威は決して遠いものではありません。こうした伝播力の強い特定家畜伝染病が発生した場合には、迅速な初動防疫によりまん延を防ぐことが重要です。

沖縄総合事務局では、特定家畜伝染病の発生に備え、農林水産部の職員を対象に、発生農場で実施する防疫作業に関する説明会を開催しています。今年は7月24日に、農林水産省動物検疫所沖縄支所、沖縄県畜産課から講師を招き、国外から家畜の伝染病の侵入を防ぐ動物検疫所の取組や、特定家畜伝染病発生時の防疫作業等について説明いただきました。また、防疫作業を実施する際に自身の身を守り、発生農場から病原体を持ち出さないための防護服の着脱演習も実施しました。

説明会では、実際に発生した場合を想定し、発生後72時間以内に防疫措置を完了するための体制や役割分担について理解を深め、参加者からは、実際の作業を想定した質問や意見が寄せられ、活発な意見交換が行われました。

当局では、今後も関係機関と連携し、万が一特定家畜伝染病が発生した場合に迅速かつ適切な対応ができるよう防疫体制の強化に努めてまいります。


動物検疫所の取組等について受講


防護服の着脱演習

※アフリカ豚熱（African swine fever, ASF）は、ASFウイルスが、豚等に感染することで発症する致死率が高い伝染病。詳細については、農林水産省ホームページを参照。
URL:https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/asf.html

▼お問合せ先
農林水産部　消費・安全課
☎098-866-1672

仕事の窓 5
農林水産部

消費者の部屋　夏休み特別講座『親子見学バスツアー』を開催しました

沖縄総合事務局では、令和8年8月14日に「夏休み親子見学バスツアー」を開催しました。当日は小学生の親子6組18名が参加し、私たちが普段飲んでいる牛乳が届くまでの仕組みを学びました。午前中は、沖縄県酪農農業協同組合より「乳牛の一生」についてお話を伺いました。児童からは「牛が健康に長く過ごすための研究はしていますか？」という牛の体調管理に関する質問もありました。（株）宮平乳業の工場では、専門の試験に合格した職員が必ず実際に飲んで検査を行う徹底した品質管理も学びました。

午後は、南城市の（株）宮平農牧で、実際に乳牛を間近で見学しました。児童からは、「台風の時でも搾乳はするの？」という質問があり、「牛のために台風でも毎日同じ時間に搾乳し、停電時は発電機を稼働して対応している」という工夫も学びました。このほか、「牛乳の味が地域によって違うのはなぜ？」といった質問や「牛が1日に水を100リットルも飲むことにびっくりした」「これからも牛乳を飲みます！」などの感想が聞かれ、酪農と乳業について楽しく学んだ1日となりました。

今後も農林水産業に関する情報発信をしていきますので、当局HPや公式SNSもご覧ください。


沖縄県酪農農業協同組合職員の説明


（株）宮平乳業の工場見学


（株）宮平農牧の牧場見学

▼お問合せ先
農林水産部　消費・安全課
☎098-866-1672